

1. 委員会開催状況

1) 委員会 12 回

2) 検討事項

- (1) 在宅における利用者・家族等からの暴力・ハラスメント対策に関するガイドブック・動画の啓発・評価について
- (2) 企画交流会について
- (3) 新人訪問看護師育成プログラム作成のためのヒアリング調査について
- (4) 次年度事業計画について

2. 活動報告

1) 学会・研修等参加

(1) 訪問看護サミット 2025 (オンライン開催)

開 催 日 11 月 8 日

参 加 者 委員 3 名、担当理事 1 名 (委員長はパネリストとして登壇)

2) 交流会・情報交換会等

(1) 企画交流会「意思決定支援の交流会～急性期・回復期・在宅などそれぞれの立場で看護アドボカシーを 実践しよう～」(ハイブリッド開催)

開 催 9 月 26 日

講 師 ①福岡赤十字病院 平島 洸 氏

②介護老人保健施設ささぐり浜江苑 高島幸子 氏

③訪問看護ステーション「くるめ」 小原尚美 氏

内 容 急性期・回復期・在宅など立場が異なる看護職が連携し、非がん患者への看護アドボカシーの実践を通して、看護師の役割や機能を考える。また、切れ目のない仕組みづくりについての示唆を得る

対 象 訪問看護師、病院看護師、施設看護師

参 加 者 65 名 (会場 24 名、オンライン 41 名)

3) その他

(1) 在宅における利用者・家族等からの暴力・ハラスメント対策に関するガイドブック・動画の啓発、評価

(2) 新人訪問看護師育成プログラム作成に係るヒアリング

目 的 県内における在宅医療を担う訪問看護職員の確保を目的とし、新人(既卒・新卒)訪問看護師の採用および定着を促進するため、訪問看護ステーションにおける新人育成に関する現状・課題・工夫や、教育体制整備に向けた実践可能な方策を明確にする

実施方法 質問紙の回答、ヒアリング

実 施 日 令和 8 年 1 月 20 日、令和 8 年 2 月 24 日

対 象 者 ①大規模訪問看護ステーション管理者 3 名

②①で採用された新人(既卒)訪問看護師 2 名、新人(新卒)訪問看護師 2 名

③中小規模訪問看護ステーション管理者 3 名

④③で採用された新人(既卒)訪問看護師 3 名

3. 今後の課題・検討事項等

在宅における利用者・家族等からの暴力・ハラスメント対策に関するガイドブック・動画の閲覧者数は、ともに累計で 1,000 件を超え、多くの方に視聴していただけた。動画の公開は令和 8 年 3 月末で終了となるが、ガイドブックは継続して掲載・閲覧数のモニタリングを行う。

新人訪問看護師育成プログラムについては、令和 8 年度中に作成予定。委員の交代があるため、これまでの流れや今後の方針などを共通理解しながら進めたい。福岡県では訪問看護事業所が急増しているが、一方で人材の離職による事業所閉鎖なども多く、また質の担保も喫緊の課題である。小規模事業所でも活用しやすいものを目指して協議しながら作成していく。同時に訪問看護の魅力を語り合おうというテーマで交流会も企画しており、訪問看護師として働く看護職の拡充を目指していきたい。